

# 「官民共創フロントふくい（仮）」目指す姿

## 未来思考とイノベーションで共創する「日本一の幸せ実感ふくい」

地域主役の官民連携コミュニティに、県内外のアイデアと技術を結集させ、福井の地域課題を解決。持続可能で希望に満ちた福井を未来につなぐ

### <3つの提供価値>

#### 官民のパートナーシップ

民間と行政のミスマッチを解消し双方の橋渡しを行う

#### 新たな価値創造

地域課題を起点に多様な主体が連携するPJを創出

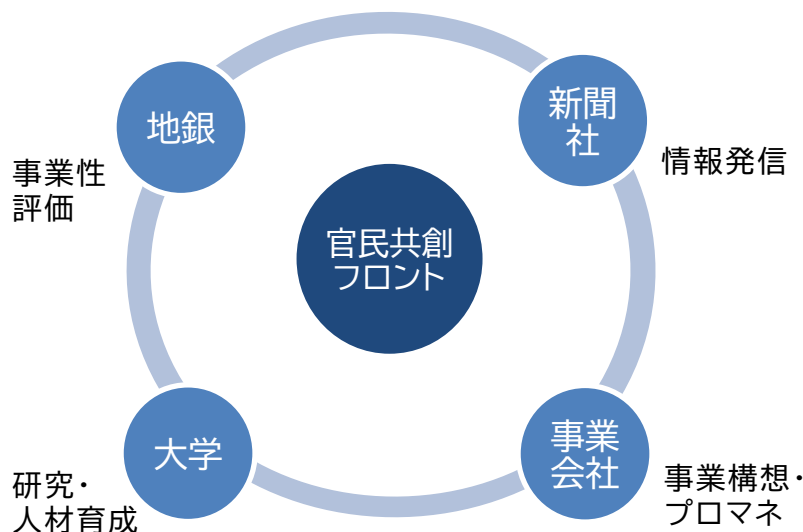
#### 社会実装

PJの実行を支援して地域で活かされる形へと育てる



## 「地域課題の解決」と「県内産業の価値づくり」

### <コミュニティの運営体制>



#### 運営メンバー

#### 主な役割

| 運営メンバー | 主な役割   |
|--------|--|
| 銀行     | PJの収益性・継続性といったリスクの見極めや実施に向けた関係者とのマッチングを行う      |
| 新聞社    | PJの意義や成果を発信し、社会実装を促進するとともに、コミュニティやPJのブランド価値を向上 |
| 事業会社   | PJの企画から実行を支えるプロジェクトマネジメント                      |
| 大学     | 地域イノベーション人材の育成と専門的知見によりPJの再現性を高める              |

# 「官民共創フロントふくい（仮）」活動領域

地域課題解決型プロジェクトを民間が主体となって発案し、行政が応援する官民共創を促進

## メイン領域

## 解決すべき地域課題

### ソーシャルグッド

県民の生活の質を高める  
ウェルビーイングの領域

- ・誰も取り残されない安心の医療・介護・福祉の充実  
医療・介護のDX推進、ヘルステックによる健康増進 など
- ・防災・治安先進県ふくいの実現  
自律分散型のインフラ整備(水循環、エネルギー等)、地域防災DX など

### Beyond SDGs

未来に向けて持続可能な  
地域社会を目指す領域

- ・豊かで美しいふくいの環境の継承  
ローカル・サーキュラーエコノミー、ネイチャーポジティブの推進 など
- ・子ども・若者や子育て世代から選ばれるふくいの実現  
EdTechの推進、キャリア教育・探求学習等の外部連携 など

### 産業イノベーション

新たなビジネスモデルや  
社会価値を生み出す領域

- ・未来志向型の産業革新  
脱炭素経営・サステナビリティの推進、DX・AIロボット等の活用 など
- ・創業・新事業展開の推進  
新たなエネルギー事業(小水力、水素等)、モビリティ・物流の実証 など

# 「官民共創フロントふくい（仮）」運営スキーム

## 官民共創フロントふくい（仮）

### 運営チーム

官民共創  
コーディネーター  
(地域おこし協力隊)

銀行

新聞社

大学

事業会社

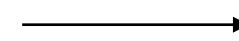
### 【活動内容】

- ・相談の窓口 → 共創プロジェクトへの助言
- ・共創の創出 → セミナー、ワークショップの企画・運営
- ・共創の支援 → メンタリング、地元関係者とのマッチング

会員：県内で官民共創に取り組む意欲ある県内外の企業、団体等

活動：セミナー・ワークショップ等の開催、共創プロジェクトの実施等

情報共有、提案



県官民共創  
チーム

担当課の  
マッチング



共創プロジェクトの  
伴走支援



運営資金の調達、  
コミュニティ運営への助言



支援会社  
(委託)

都市部企業・  
スタートアップの  
リクルート

※3年間で自立化を支援

### 【想定スケジュール】

| 年度       | 実施内容                                       | 企業数  | プロジェクト数 |
|----------|--|------|---------|
| 1年目(R8)  | ・運営体制の構築、企業ネットワークの立上げ<br>・官民共創チームの新設       | 10社  | ~2件     |
| 2年目(R9)  | ・ネットワークの形成、プロジェクト創出・実行<br>・相談・提案への対応・マッチング | 50社  | 5件以上    |
| 3年目(R10) | ・共創フロント参画企業の拡大<br>・安定した運営資金の調達による自立体制の確立   | 100社 | 10件以上   |